

報告事項ウ

鳥取大学と鳥取県教育委員会との意見交換会の概要について

鳥取大学と鳥取県教育委員会との意見交換会を開催しましたので、その概要について報告します。

平成24年6月5日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

鳥取大学と鳥取県教育委員会との意見交換会の概要について

教育総務課

- 1 日 時 平成24年5月14日(月)午後3時30分～午後5時30分
- 2 場 所 白兔会館「飛翔東」の間
- 3 出席者 鳥取大学：学長、理事、副学長 他 計18名
県教育委員会：教育長、教育次長、次長、参事監 他 計15名

4 会議の概要

(意見交換1)「学力向上のための取組みについて」

- ・双方の学力向上に向けた「授業改革」及び「教職員養成、育成」の取組みについて説明し、意見を交換。
- ・県教委から、学校等が行う授業改革に対する大学の支援を要請した。

主な発言(;鳥取大学、 ;県教委)

授業改革に対する大学の支援について

今年度、指導法等の研修や高校のモデル校、スクラム等で、授業改革に取り組む。これらの取組みを大学の持つ最新の知見により支援していただきたい。

大学の教員も実際の生徒の学びを知った上でないと、良い大学教育ができない。

研究者や大学院生なども、ともに学びながら、今まで以上に協力していきたい。



全学体制による教員養成機能の強化に向けた改革について

教員養成のためのセンターを作り、生涯にわたる人間発達と学習能力形成の理解に優れた教員、校種間のギャップを排除し一貫した人間教育に優れた教員、大学の全学体制による高度な専門性と多様性を身につけた教員の養成を目指したい。

学生ボランティアの活用について

教員としての資質を育てるのに、学生教育ボランティアとして子どもとかかわってもらえることが一番早い。ボランティア活動が単位の一つになると、参加も進み、本当に教員になりたい学生に魅力的な事業になるのではないかと。

鳥大の学生ボランティアは少な過ぎる。もっと学生が参加するように、地域学部や他の学部にも伝えたい。

(意見交換2)「大学の秋入学について」

- ・鳥取大学での秋入学に関する検討状況等について説明後、意見を交換。

主な発言(;鳥取大学、 ;県教委)

秋入学は、教育改革。学生にどういう教育をして社会に出していくかということ。委員会を設置しギャップタームの有効利用等、18の事項について調査、検討中。ギャップタームでは、新たな進路目標が見つかると思う反面、大学で学ぶ意欲がしばむ心配もある。また、ギャップタームの過ごし方にどこが責任を持つのか。経済的な負担を本当にどうするかなどいろいろ考えてみる必要がある。

小学校から高校の制度が変わらない中で、秋に卒業する学生が、就職までにどういった期間を過ごすのかということもテーマ。

9月から4月までに、教員を目指す学生の養成を仕組んでいけば、力量をつけて現場に送ることも可能になるかもしれない。